

昭和38年1月1日



134号

区政のお知らせ

足立区役所

発行
足立区千住1の50
東京都足立区役所
湯浅孝治
編集
総務課総務係
電話(代表)2151
安藤 義雄
印刷
巧文社(横田)
株式会社



賀正

年頭にあたって

足立区長 岡崎 十止雄



区民の皆さまあけまして、おめでとうございます。

平素は区政発展のために深いご理解とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。願ひますれば、昭和三十七年は銘記することの多かつた年であります。国際情勢にありましてはカリブ海が異状な緊張に包まれ、世界は一瞬固唾をのみました。幸い関係国の良識により、このキューバ問題も解決しつつあり、一方中印国境紛争も中共の撤兵により明い平和への希望が持続出来ますことは、誠に喜ばしい限りであります。また国内におきましては貿易の自由化をはじめ、停滞状態にありました経済界も、公定歩合の引下げにより、本年は活況の兆が窺われております。しかし反面、水飢饉が叫ばれ、都市公害におのき、また、悲惨な交通事故が激増するなど、大きな社会不安を生じております。中でも三河島事件の犠牲となられた方々には誠に同情に堪えません。

このような社会情勢のさなかにあつて、本区は大きく発展し続けております。即ち、地下鉄日比谷線の開通、強力な装備をもつ川田橋排水場の完成、宮城図書館の開館をはじめ青年館、文化会館の竣工、また、昨年をもって全中学校に体育

館を設置し終るなど、交通、防災、文化教育等、区議会ははじめ、関係方面のご努力とご協力により、住みよい足立区への願望は逐次実現いたしております。ご承知のとおり、本区は東京都のベッド・タウンとして、その住宅地域は年々大掛りに拡張され、人口は、現在四十四万を超えており、今後十年にして六十万人に達するものと推定されております。従いまして、区の行政面におきましても、一段と事務事業を強化しなければならぬ現状であります。

特に教育面では、体育館、プール、および林間学園など付属施設を充実整備するとともに、PTAの経費を大幅に軽減し、土木事業面では、道路河川の維持補修を強化したい考えであります。さらにまた、水災、火災、交通事故等の防災、民生事業ならびに国民年金、国民健康保険制度の浸透、また商工農業の振興施策、加えて新たに住居表示方法の実施などにつきましても、その目的達成のために邁進いたす所存であります。

区民の皆さまにおかれましても街をきれいにする運動、花いっぱい運動など環境の美化浄化に、或いは、交通安全運動などの事故防止対策に、また多くの問題を抱えております青少年の保護育成等には、是非とも町ぐるみで協力を賜わり、住みよく美しい、誇りある大足立区の建設にご支援下さいますようお願い申し上げます。

私はここに、本区の隆盛と区民各位のご多幸をお祈りいたしまして年頭のあいさつといたします。

昭和三十八年元旦

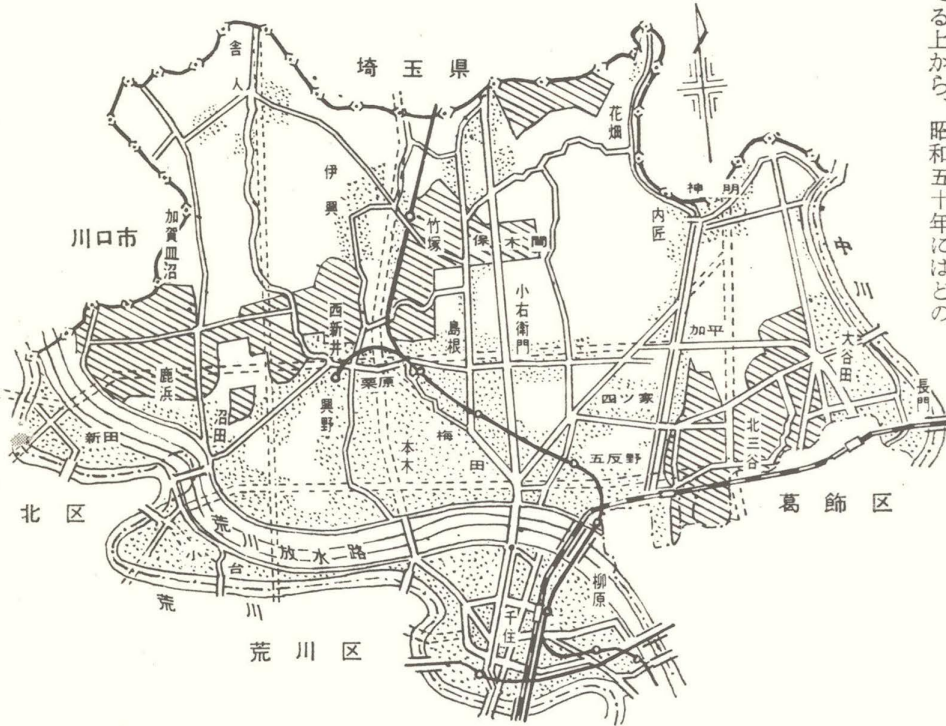
伸びゆく足立

その人口と開発

十年で六十万の区に

終戦直後わずか十七万の人口であった足立区は、現在四十四万にふくれあがっています。都の統計部では、都市計画を立てる上から、昭和五十年にはどの

くらい人口がふえるか、各区の实情を調査して、推定人口を算出しましたところ、五十万人を超える区は、二十三区中八区で、世田谷



区九十七万、大田区八十七万、杉並区六十九万、板橋区六十八万、練馬区六十六万、足立区六十三万、葛飾区五十九万、北区五十五万となっており、足立区は六番目に大きな区となります。足立区は、面積の上からいっても、世田谷区に次いで二番目に大きく、まだまだ、発展の余地が充分にあります。しかし、このように増加してゆく人口を野ばなしにしては、雑然とするばかりで、立派な町づくりは出来ません。

そこで区では、道路や公園を作つて、環境のよい、そして便利な、住みよい町の形を整えてから、家が建つてゆくように、土地区画整理事業を助成しています。

図にもありますように、区の南部や、中央部は、もうすでに市街地化されてしまつていますので、足立区の発展は北へ・西へ・東へと伸びていっています。

図の説明

この区画整理事業は、現在点の部分はすでに住宅・商店・工場等が建てられ市街地化している部分。斜線の部分は区画整理され、将来市街地となる部分。のこりの白い部分が農耕地です。また点線は都市計画主要道路

十五カ所で進んでおり、その総面積は、七百七十八万平方メートル(二百三十五万坪)という膨大な広さです。中にはすでに区画整理を終え、住宅がどんどん建っているところもあります。

区画整理の終わったところは、大谷田第二土地区画整理組合と、蒲原北三谷土地区画

続々建つ都営住宅

一般住宅も年に二千八百戸

大団地計画は竹塚と花畑

戦後、住宅事情の悪化にともない、国や都ではこの問題を大きくとりあげ、住宅政策は、かかすことのできない重要施策になっていきます。昭和二十年から二十七年までの八年間に、足立区における都営住宅の建設は、第一種が四三五戸、第二種が四六二戸、合せて八九七戸という心細さでしたが、二十八年から三十年までには、第一種が一五二六戸、第二種が五、四八二戸、合わせて七、〇〇八戸も建てられ、その後は昭和三十七年度だけでも、第一種三〇二戸、第二種(母子・福祉住宅を含める)一、一八一戸、合せて一、四八三戸も建設中です。

このほか、日本住宅公団の整理組合で、その二つの組合が区画整理した広さは約九十一万平方メートル(二十七万六千余坪)で、その整理地内には、野球場や、野外ステジマである大公園をはじめ、小公園などが十カ所もあり、道路も広く、しかも縦横に整備され見違えるような新しい町となっています。

団地住宅が五九〇戸、日本住宅協会の団地住宅が七六〇戸あり、竹の塚団地や、花畑団地の計画を入れますと、集団住宅の数は、おびただしい数に達する見込みです。また、一般住宅も、毎年平均二千八百戸づつ増加しており、名実共に東京都のベッド・タウンとして大きく発展しています。

いま区の広報係へは、都心から支店や出張所を足立区内へ設置するために、商社や、また銀行、保険会社などの金融機関からの問合せや照会です。これらは足立区の発展が各方面から注目されていることを物語っているものといえますよう。

新年の御挨拶

足立区議会議長 大神田 貞英



昭和三十八年の新年を迎え、四十四万区民の皆様に対し、足立区議会議長を代表し謹んで御祝詞を申し上げます。

御承知の通り昨年は、国際的にはキューバ問題、中印紛争等東西陣営の力の緊迫、又、国内には、国際収支の健全化、設備投資の抑制等をはかるため、金融引き締めが浸透し、産業、経済の面に多大なる影響もありましたが、内外共に一応危機を脱し、ここに活気に満ちた平和な新年を迎えることが出来たことは、この上ない喜びでございます。

堂としての文化会館、若人の集いの場としての青年会館等財源的に乏しい区財政を遣り繰りして区民各位の利用を願うため建設いたしました。

以上、累々申し述べましたが、常に区民の総意を都区政に反映し、明るい住みよい足立区建設に邁進し、区民各位の御信頼に応える所存でございますので、旧に交らぬ御支援を切にお願い申し上げます。

昭和三十八年元旦

地域の開発より一歩先んじて

まず学校建設が急務

都下のある町で、集団住宅の子供たちが一度にどっと転入学をしたために、生徒が教室に入りきれず、廊下へゴザをひいて勉強するといった戦後のスシずめ教室そのもののさわぎになった学校があります。

足立区でも、一歩方針をあらまると、いつそのような事態が生じるかわかりません。従って区や教育委員会では

こんなことにならないよう、あらかじめ集団住宅の建設や、区画整理の状況を調査して、どんどん分校を建ててい

分校といいますが、山の中小の小さな分校を思い浮べますが、足立区で建てている分校は、たとえば、区立花畑小学校の分校などは、鉄筋三階建十五教室、工費六千八百八十万という立派なものです。

このように、学校を常に整備し、いつ町が発展しても、教育施設には困らないように区では一番力を入れていきます。また、学校の設備も充実するよう、体育館も年々七・八校づつ建てていきます。この体育館も、ちょうど昭和三十

七年度をもって、全中学校(分校の分まで)に設置し終り、三十八年度からは、小学校の体育館を次々と建ててゆく予定になっています。

七億七千五百余万円、三十六年度では七億四千九百余万円、三十七年度ではぐっとふえて十二億八千八百余万円というほう大な予算です。昭和三十三年年度の区の総予算が、約十二億七千五百万でしたからどんなに経費がかかるかわかりと思いません。

これは、いいかえれば足立区が住みよい町、文化的な町づくりへの大きな投資をしているものといえます。次ぎに昭和三十七年度の小学校建設状況は別表のとおりです。

別表(1) 校舎建設 昭和37年12月1日現在

Table with 4 columns: 学校名, 新增改教室数, 構造, 工費. Lists school construction details for various schools like 保木間小, 江北小(分), etc.

別表(2) 屋内体操場(体育館)建設

Table with 4 columns: 学校名, 増改別, 構造, 工費. Lists indoor gymnasium construction details for schools like 千寿小, 千寿第1小, etc.

文化会館、青年館完成

文化活動、青少年グループ活動が期待される

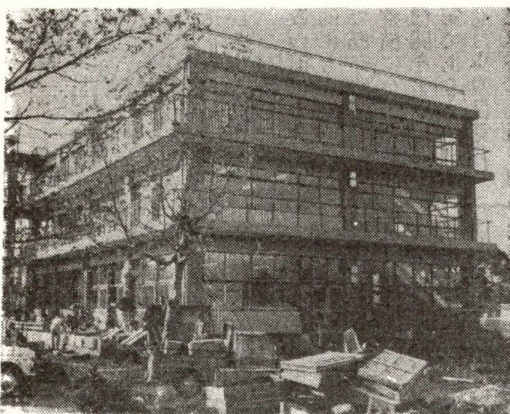
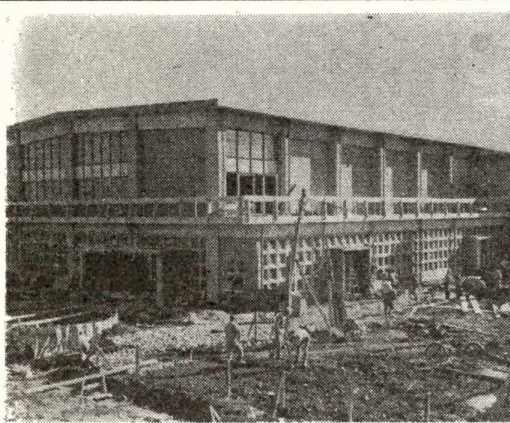
昨年三月、足立区体育館と並んで、千住栄町六一番地に着工された足立区文化会館は十二月末、完成し、いまその偉容を誇っています。また、西新井町九七二番地、西新井大師山門わきに建設中であつた足立区青年館も完成、そのしようしな建物は人目をひいています。

という文字どおり文化会館の名を恥かしめない立派なものです。舞台の広さも大劇場なみの間口十七・五メートル、奥行七メートル、これにさがるドンチヨウは二百万円もかかった豪華なもの。また映画室、ワイドスクリーンも備え、映画・演劇・講演・集会等、幅広い利用が期待されています。

文化会館は、建設費一億三百五十五万余円で、鉄筋コンクリート一部鉄骨の二階建、建坪延約千四百五十平方メートル(四三八坪余り)客席九四九、補助席を入ると約一千人は収容でき、暖冷房完備

一方、足立区青年館は、建設費四千八百三十二万余円、鉄筋コンクリート三階建、建坪延約九三三平方メートル(三百余坪)で、一階はホール、事務室、レクリエーション

ンホール、料理教室、準備室、湯沸室、宿直室などがあり、二階には、ホール、学習室、談話室、大会議室、図書室、予備室などとなっています。三階は結婚式場で、記念撮影のスタジオ、化粧室、和洋披露室が三部屋、控室が二部屋、それに配膳室などが揃っており、式場としては最新の設備を誇っています。



写真上から 突貫工事中の文化会館、完成
真近い青年館、いづれも12月上旬撮影。

文化会館使用料

使用区分	午前	午後	夜間	全日
平日	3,000円	6,000円	8,000円	15,000円
土・日・曜・祝日	4,000円	8,000円	10,000円	20,000円

入場料をとる場合は5割増、映写機、ピアノ、その他の備品および暖冷房設備の使用料は別にかかります。

青年館使用料

青年館は青少年団体が活動する場合は無料で利用できますが、結婚式等で付属施設を利用する場合は次の使用料がかかります。

使用区分	午前	午後	夜間	全日
会議室(1~3)	500円	1,000円	1,500円	2,500円
レクリエーションホール	800円	1,200円	1,500円	3,000円
式場(控室を含む) 挙式一回につき				800円
写場				200円

ゴミの容器収集方法についてのご注意

足立区の一部ではすでにゴミ箱をやめて、ゴミ容器で集める方法を行なっています。が、本年四月からは全区的にこれが実施される予定になっています。

このため、ポリエチレンのゴミ容器が多数市販されておりますので、なかには、町会等で一まとめにして買入れていたため、このポリエチレンの容器でないを集めてもらえないのではないかと心配をされているご家庭もあるようですが、そのようなことはありません。ゴミを入れ、持ち運びに便利なものならなんでもけっこうです。

また、容器を押し売りしている者もおりますので、ご注意ください。

無料法律相談

毎月第三水曜日一〜四時
足立区役所梅島支所
毎月第三木曜日一〜四時
足立区産業振興館

★お詫び★

前号区表彰者の事績の中で一部誤りがありましたので訂正いたします。(敬称略)

▼二十年以上公共団体に勤続し職務に精励—金子章吾

第三回

(区民スケート教室)

第一次(日光)
期間 一月十三日〜十四日
場所 日光市菅東照宮スケートリンクと細尾スケートリンク
会費 一六〇〇円(往復バス・泊二食滑走料を含む)

第二次(榛名湖)
期間 二月十日〜十一日
場所 榛名湖
会費 一五五〇円(往復バス・泊二食、滑走料を含む)

申し込みは、第一次は一月八日(火)第二次は二月五日(火)までに申込用紙に記入の上、社会教育課体育係、または千住三丁目ツバメヤ運動具店に申し込んで下さい。

定員は、各々一〇〇名で、定員になり次第締切ります。